

## 新たな道は「いのち」をつなぐ道

- ・日本海側、太平洋側ともに緊急時の血液供給を強化
- ・平成20年7月以降、血液輸送に東海北陸道を7回利用
- ・北陸自動車道との連携により天候不良時、災害時の危機管理面で安心度向上



石川県赤十字血液センター



### 通常時の利用状況

- ・中部ブロック(東海・北陸)では愛知県赤十字血液センターの指令の下、ほぼ毎日血液の過不足調整が行われている。
- ・通常は血液センターまでの搬送であるが、緊急時は直接病院まで乗り入れている。

### 緊急時の利用状況

- ・平成20年7月開通以降、血液輸送の際に東海北陸道の利用が7回あった。

- |            |               |                    |
|------------|---------------|--------------------|
| 7月 7日(月)   | 金沢東IC → 高鷲IC  | 愛知県より血液をもらう        |
| 7月 15日(火)  | 金沢東IC → 高鷲IC  | 各県(愛知、石川)に必要な血液を交換 |
| 7月 17日(木)  | 金沢東IC → 高鷲IC  | 愛知県へ血液を渡す          |
| 7月 31日(木)  | 金沢東IC → 高鷲IC  | 愛知県から血液をもらう        |
| 8月 6日(水)   | 金沢東IC → 白川郷IC | 岐阜県へ血液を渡す          |
| 9月 5日(金)   | 金沢東IC → 白鳥IC  | 愛知県から血液をもらう        |
| 10月 23日(木) | 金沢東IC → 高鷲IC  | 愛知県に血液を渡す          |



- ・開通からの北陸道と東海北陸道の利用割合は6:4

- ・岐阜、愛知への輸送経路が北陸道と合わせて2経路となり、**天候不良や災害時の危機感管理面で安心度が増した**

天候や交通状況に応じた経路選択が可能に



- ・愛知県としては東海北陸道の一宮JCT～高鷲IC(4車区間)は利便性が高い。

- ・東海北陸道の2車線区間において低速度車がいる場合に定時制に欠ける。

- ・RHのような特殊血液は全国ネットワークが必要

4車化への要望  
広域ネットワークの必要性

